

みやぎ農園

【基礎データ】

場 所： 沖縄県南城市大里

経営規模： 8000羽(産卵鶏)

品 種： ボリスブラウン

使用期間： 15年間(2008年現在)

使用資材： EM・1、糖蜜、EMセラミックス

使用方法： 飲水(EM活性液4000倍希釈、2tタンクにEMセラミックス約2kg設置)

飼料添加(EMボカシ1%)、出荷時洗卵(EM活性液4000倍希釈液使用)

【概 要】

沖縄本島南部の養鶏団地の一角で平飼い養鶏を営んでいる。養鶏を始めた当初は、化学薬品を多用する一般的な飼育方法であったが、鶏の消化メカニズムを妨げない環境作りを目指し、様々な微生物資材を試す中、EMに辿り着いた。

EMの活用で鶏舎内の環境が改善され、高密度での平飼いが可能となり、産卵率や生存率、品質の向上など、様々な影響が現れている。

【特 徴】

EMの活用により、鶏舎内の空気は非常に清浄で、ストレスが無いため鶏は穏やかである。

このため、平飼い養鶏における一般的な飼育密度の約2倍に相当する、坪当たり30羽という高密度飼育を実現している。

EMの働きやすい環境を整えるため、粗飼料(近辺の雑草)を多く与え、抗生剤、添加剤、消毒剤を一切使用しない独自の養鶏スタイルを確立させている。

床には、糞が常時40～50cm程堆積しているが、腐葉土のようなサラサラとした状態で、鶏の排泄と床の分解の収支が完全に調和している(鶏の腸内環境と床の微生物相の調和)。

EM使用以前は約80%であった産卵率も、現在では約92%に向上。月平均の生存率も99.4%と、密飼いであるにもかかわらず、生産成績も良好である。

鶏卵は、常温で2週間、冷蔵で1ヵ月間の保存性があり、アレルギーをもった人でも安心して食べられるタマゴとして、県内EM販売店をはじめ健康食品店、イオングループ等で幅広く支持されている(アレルギー体質の方からは、有精卵を求める傾向にある)。

また、マヨネーズや卵油など付加価値の高い二次加工品も製造されると共に、廃鶏もレストランの食材として出荷されている(4度解凍してもドリップが出ないほどの高品質)。



高密度平飼い飼育(坪当たり30羽)の様子



鶏舎外に鶏糞が溢れた様子から、鶏糞が常時40～50cm堆積し床を形成している様子がわかる